

今後の取組みにあたって：知事コメント

総評

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、学校の臨時休業や、感染不安により登校を控える動きも見られるなど、**子どもの学習や心身への影響が懸念される状況であったが、オンライン学習の環境を整備することで、学習機会を確保するとともに、一人ひとりに応じたきめ細やかな心のケアに取り組んできた。**引き続き、子どもたちの学力向上や健やかな成長に向け、取組みを進めていく。
- ・1人1台端末を最大限活用し、全ての府立学校においてICTを授業に積極的に取り入れていくとともに、ICTを活用した教育の質の向上を図り、子どもたちが**社会の変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓く力を育んでいく。**
- ・**ヤングケアラーをはじめ、子どもを取り巻く様々な課題**に対し、誰一人取り残すことなく、すべての子どもが自らの可能性を伸ばしていけるよう支援していく。

<学力>

- ・コロナの感染拡大により、学校の臨時休業や感染不安による登校控えなど、学習への影響が懸念されることを踏まえ、対面授業が制限される場合でも、学習機会を確保することができるよう、**1人1台端末の配備などのオンライン学習の環境整備を進めてきた。**今後も、コロナの感染拡大はもちろん、新たな感染症の流行や災害などの不測の事態に対応できるよう、**教員のICT活用指導力のさらなる向上など、オンライン学習の充実を図っていく。**
- ・また、各府立高校における1人1台端末の活用プランの策定を促し、**ICTを授業に積極的に取り入れるよう取組みを進めていく。**さらに、ICTを活用した**教育の質の向上を図り、**個々の習熟度に応じた学習や多様な人との意見交換などにより思考力や判断力を養い、**子どもたちが社会の変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓く力を育んでいく。**
- ・小中学生のさらなる学力向上に向けて、府独自に中学生を対象とした学力テストを行うとともに、**令和3年度から小学5・6年生を対象に新たな学力テスト「すくすくウォッチ」を実施。**個々の強みや課題を継続的に把握・分析することで、**子どもの学習意欲を高めるとともに、課題の改善に向けた効果的な指導につなげていく。**

<心のケア>

- ・長期化するコロナ禍において、子どもたちがストレスや不安を抱えていることが懸念されることから、**SNSを活用した相談や、スクールカウンセラーの拡充及び資質向上を図った。**引き続き、**市町村等と連携し、子どもたち一人ひとりに応じたきめ細やかな心のケアに取り組んでいく。**

<支援教育>

- ・中学校等で支援学級に在籍していた生徒の府立高校に進学する割合が年々増加していることを踏まえ、**障がいなど配慮を要する子どもたちが「ともに学び、ともに育つ」教育をより充実させていくため、令和5年度から、教育環境の整備に先行的に取り組むモデル校（2校）を指定して、今後の府域での本格実施を見据えていく。**

<ヤングケアラー>

- ・ヤングケアラーについては、社会的認知度が低く、子どもや周囲の大人にその認識がない場合が多いことから、**ヤングケアラーの生活実態や支援ニーズを把握するとともに、教職員のヤングケアラーに対する理解を促進し、福祉・介護・医療などの関係機関と連携して、早期の発見、適切な支援につなげていく。**